

INFORMATION

No.2021.05
2021年6月

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

■ 実施日 2021年6月7日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目J	検体量(mL)	容器	保存(安定性)	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
3067	SARS-CoV-2 IgG S	血清 0.5	① 真空 採血管	冷蔵 (8日)	3~5	—	CLEIA	1.0未満 陰性 (AU/mL)	不 不活化(非動化)検体では検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 SARS-CoV-2 スパイク(S)タンパク質の受容体結合ドメイン(RBD)に対するIgGを測定する定量検査です。 *3



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1511

● SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）IgG S

スパイク蛋白質のRBDに対するIgG抗体を測定する定量検査です。

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）は、スパイク（S）、エンベロープ（E）、メンブレン（M）、ヌcleoカプシド（N）の4種類の構造タンパク質で構成されています。コロナウイルスに特徴的な表面の突起を形成するSタンパク質には、ヒト細胞に感染する際に不可欠な受容体結合ドメイン（RBD）が存在しています。RBDが、ヒトの呼吸器や粘膜の上皮細胞表面に存在するアンジオテンシン変換酵素2型（ACE2）受容体と結合することで、ウイルスは宿主細胞に侵入します。

SARS-CoV-2 ワクチンは、Sタンパク質特異的に免疫反応を誘発するよう設計されているものが多く、Sタンパク質に対する抗体検査は、ワクチン接種前の免疫状態の確認およびワクチン接種後の免疫応答の定量測定などの使用が期待されています。

本検査は、富士レビオ社の研究用試薬「SARS-CoV-2 S-IgG測定試薬（IB）」を用い、検体中のSARS-CoV-2 Sタンパク質のRBDに対するIgG抗体を定量的に測定する検査であり、定量値と判定結果をご報告いたします。

▼検査要項

検査項目名	SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）IgG S		
依頼項目コード	3067		
検体量	血清 0.5 mL		
容器	① 真空採血管		
保存方法	冷蔵保存してください		
所要日数	3~5日		
検査方法	CLEIA		
結果項目コード 検査項目名 基準値（単位）	3068	SARS-CoV-2 IgG S	1.0未満（AU/mL）
	3069	判定	陰性
報告範囲（単位）	1.0未満、1.0~99900000（AU/mL）		
桁数	有効3桁、整数8桁、小数1桁		
検査実施料	-		
判断料	-		
備考	<p>不</p> <p>不活化（非動化）検体では検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 SARS-CoV-2 スパイク（S）タンパク質の受容体結合ドメイン（RBD）に対するIgGを測定する定量検査です。</p> <p style="text-align: right;">*3</p>		

●留意事項

- 1) 富士レビオ社の研究用試薬「SARS-CoV-2 S-IgG測定試薬（IB）」を用いた研究検査項目です。
- 2) 研究検査項目のため、診断目的に使用することはできません。